

インフラのストック効果

～安全・安心、快適なまちづくりに向けて～

(道路、都市整備、公園、河川、港湾)



Colors, Future!

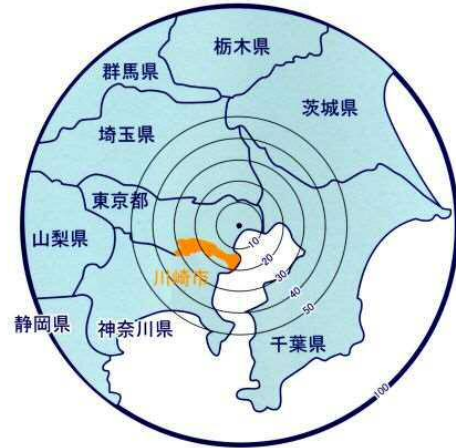
いろいろって、未来。

川崎市

川崎市の概要および位置図

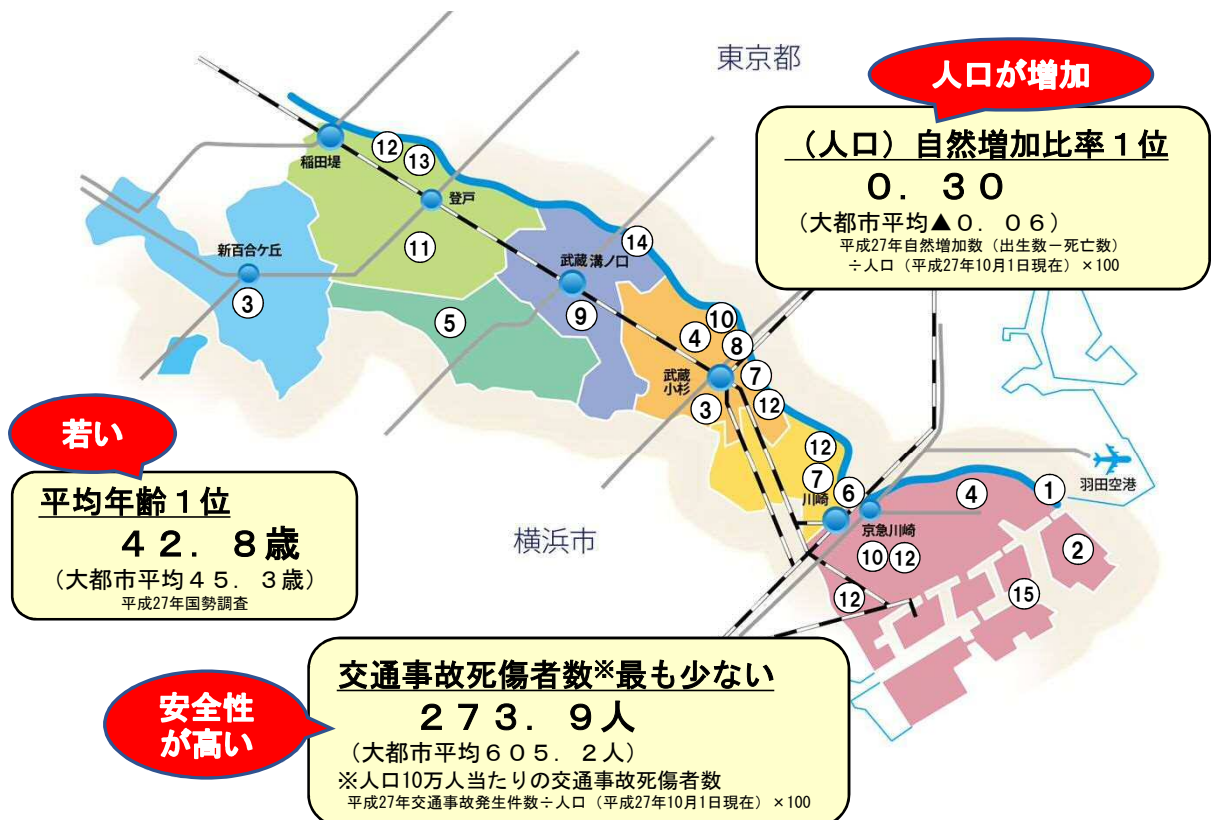
川崎市は神奈川県北東部に位置し、多摩川を挟んで東京都と隣接しています。市内には多くの鉄道が縦横に走り、東京、横浜、羽田空港などへのアクセスに優れた、交通の利便性が高く快適で暮らしやすいまちです。

全国的に人口が減少する中、川崎市の人口は増加を続け、2017年4月24日に150万人を突破しました。2030年には人口が約158万人に達すると想定されています。



川崎市ってこんなまち

(地図中の番号は、各事業の位置を示しています。)



※1 ランキング出典元:『平成27年版大都市データランキング カワサキをカイセキ!』
※2 大都市平均は『平成27年版大都市データランキング カワサキをカイセキ!』の数値から算出

Index

インフラのストック効果とは	3
---------------------	---

1 道路

①世界的な成長戦略拠点の形成	4
（羽田連絡道路の整備）	
②広域的な交通ネットワークの形成	5
（川崎縦貫道路（Ⅰ期）の整備）	
③交通の円滑化と魅力ある都市環境の形成	6
（都市計画道路等の幹線道路網の整備）	
④踏切のない安全で快適なまちづくり	7
（連続立体交差化の推進）	
⑤局所的な対策による効率的な渋滞緩和	8
（緊急渋滞対策の推進）	
⑥安全で快適な自転車利用	9
（自転車通行環境の整備、放置自転車対策の推進）	

2 都市整備

⑦活力と魅力あふれる川崎の玄関口	10
（川崎駅周辺地区のまちづくり）	
⑧選ばれるまち武蔵小杉	11
（武蔵小杉駅周辺地区のまちづくり）	
⑨駅利用者の快適な乗り換えの実現	12
（溝口駅南口広場の整備）	

3 公園

⑩魅力あふれる拠点の形成	13
（等々力緑地、富士見公園の再編整備）	
⑪豊かな自然と伝統文化、科学、芸術	14
（生田緑地の保全・管理・運営）	
⑫誰もががのびのび過ごせる身近な公園	15
（魅力的な公園の整備）	

4 河川

⑬巨大な地下トンネルが守る地域の暮らし	16
（五反田川放水路の整備）	
⑭心地よい風が吹く憩いの場	17
（多摩川緑地の整備・管理）	

5 港湾

⑮物流拠点と防災拠点を支えるインフラ	18
（臨港道路東扇島水江町線の整備）	

インフラのストック効果とは

道路、橋りょう、まち（都市整備）、公園、河川、港湾など、生活の基盤となるインフラを整備することで得られる効果として、短期的な「フロー効果」と中長期的な「ストック効果」があります。

整備されたインフラが本来持つ機能を最大限に発揮できるよう、川崎市では効率的・効果的なインフラの整備・管理に日々取り組んでいます。

フロー効果（インフラ整備事業自体による短期的な効果）



【整備された主なインフラ】



〔道路〕



〔橋りょう〕



〔公園〕



〔河川〕

ストック効果

（整備されたインフラが機能することによる中長期的な効果）



暮らしやすい快適なまち
（例：渋滞解消による移動時間の短縮）



①世界的な成長戦略拠点の形成 羽田連絡道路の整備

川崎市の殿町地区(キングスカイフロント)と東京都の羽田空港周辺地区を結び、多摩川を橋りょうで渡る連絡道路を整備します。(延長約870m、標準幅員17.3m、平成32年完成予定)

羽田連絡道路イメージ図



我が国の産業を強化し、経済の持続的発展に寄与する
羽田空港を中心とした一体的な成長戦略拠点の形成



【キングスカイフロント】

羽田空港の対岸川崎市殿町地区の約40haに及ぶ開発エリアで、ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する拠点であり、国家戦略特区・国際戦略総合特区などの区域に指定されています。

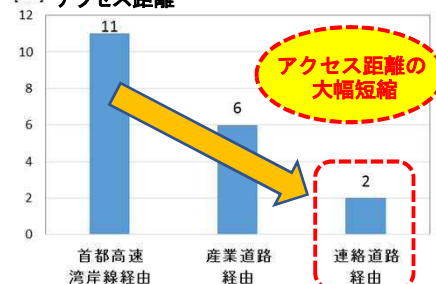


ストック効果

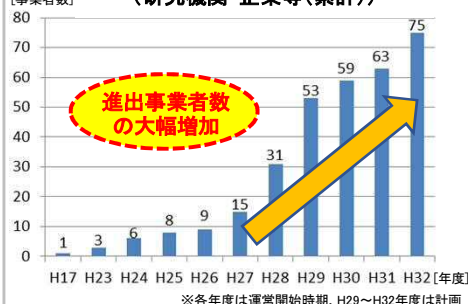
我が国の産業を強化し、経済の持続的発展に寄与する成長戦略拠点の形成

- ・羽田空港跡地地区(第1・2ゾーン)と殿町地区が、羽田空港を中心とした一体的な成長戦略拠点として形成され、「ヒト・モノ・ビジネス」の交流が活性化します。
- ・両地区の連携強化により相乗効果が発現し、その成果やビジネス機会が東京圏の各拠点や国内各地・世界へ波及するなど、我が国の産業活性化に寄与します。
- ・キングスカイフロントでは、羽田連絡道路の整備による成長戦略拠点としての価値や羽田空港とのアクセス性の向上を期待し、研究機関の立地が進み、ライフサイエンス分野をはじめとした成長分野の新産業の創出などが加速しています。

殿町地区から羽田空港国際ターミナルへの
アクセス距離



キングスカイフロント進出事業者数
(研究機関・企業等(累計))



※各年度は運営開始時期、H29～H32年度は計画

②広域的な交通ネットワークの形成

川崎縦貫道路(Ⅰ期)の整備

川崎浮島ジャンクションから国道15号までの約7.9kmをⅠ期区間として整備を行っています。川崎浮島ジャンクションから大師ジャンクションまでは開通済みで、首都高速湾岸線、東京湾アクアライン、首都高速横羽線等の幹線道路を結んでいます。

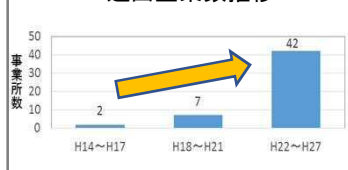


【川崎駅から羽田空港の所要時間】

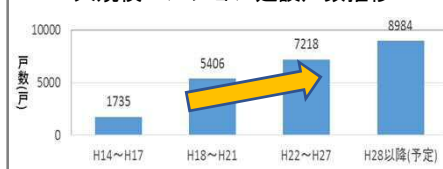
	一般道路 利用ルート	川崎縦貫 利用ルート	短縮時間
所要時間 (H27.6)	32分	21分	11分

【周辺地域の活性化】

進出企業数推移



大規模マンション建設戸数推移



データ等提供：首都高速道路株式会社

【迂回路としての機能】



ストック効果

羽田空港へのアクセス性の向上

- 川崎駅から国際拠点である羽田空港へのアクセス性が向上しています。

リダンダンシー機能(災害時ネットワーク確保)の強化

- 事故や災害等による周辺道路不通時にも、迂回路として速やかな移動が可能になります。

周辺地域の活性化による経済の活性化

- 物流施設、工場等や大規模マンションの建設促進による経済の活性化につながります。

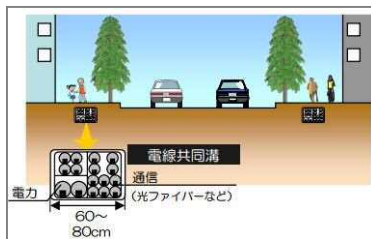
③交通の円滑化と魅力ある都市環境の形成 都市計画道路等の幹線道路網の整備

円滑な道路交通を確保し、安全で快適な都市生活の実現を図る幹線道路網の整備を推進しています。

東京丸子横浜（武蔵小杉駅周辺）



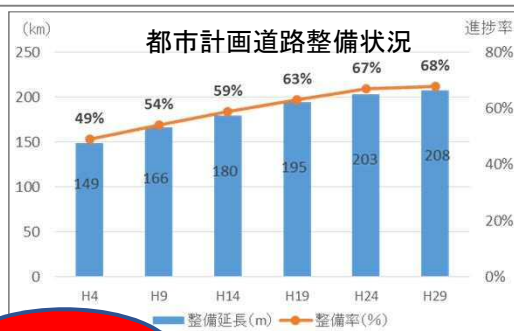
再開発との連携により、一体的で魅力ある都市環境を形成



段差解消



バリアフリー化
（車道と歩道の段差解消、点字ブロック）



ストック効果

交通の円滑化

・道路ネットワークの形成により交通の分散化を促し、交通の円滑化につながっています。

安全・安心快適な道路利用の実現

・車歩道の段差解消等、高齢者や障害のある方も安全で快適に通行できる道路環境を創出しています。

都市景観の向上

・都市緑化の促進により潤いのある都市景観を創出しています。

都市の防災性を強化

・電柱をなくし、電線類を地中化することで、災害時に避難経路確保等の効果を発揮しています。

1 道路

④踏切のない安全で快適なまちづくり 連続立体交差化の推進

鉄道の一定区間を高架化や地下化することにより、複数の踏切を一度に無くすることができる連続立体交差事業を進めています。

J R南武線（武蔵小杉駅～第3京浜高架下間）



整備前（旧中山街道踏切）

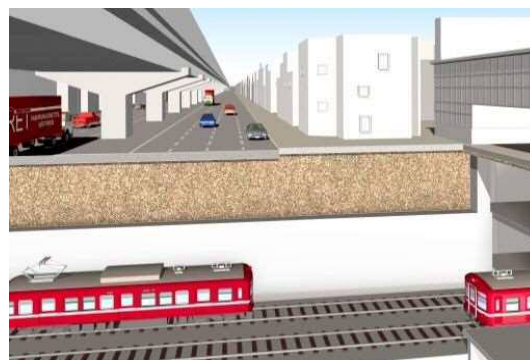


整備後

京浜急行大師線（小島新田駅～東門前駅間（事業中））



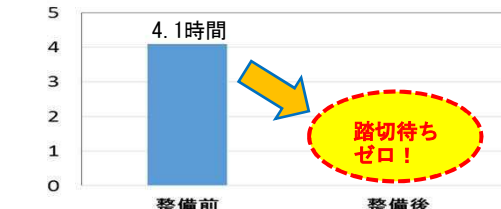
整備前（産業道路第1踏切）



整備後イメージ（平成31年度完成予定）

立体交差化による高架下空間の有効活用

[時間/日] 踏切遮断時間(産業道路第1踏切)



ストック効果

交通の円滑化および安全性向上

・踏切が無くなることで交通渋滞が緩和されるとともに、踏切事故が無くなります。

地域の魅力向上

・鉄道に分断されたまちが一体化し、回遊性が向上するとともに地域の賑わいに貢献します。
・連続立体交差化により創出される空間を有効に活用し、まちづくりの活性化にも寄与します。



保育園（中原区）



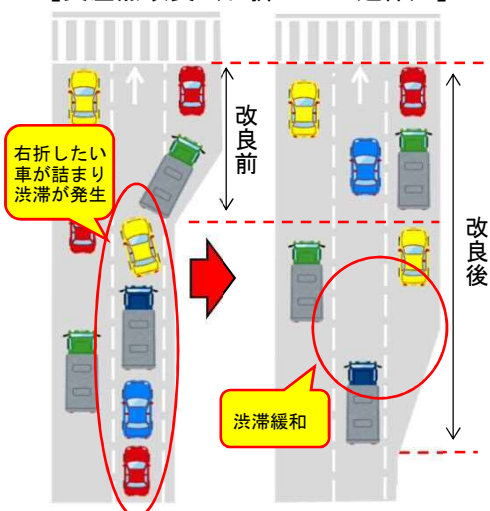
駐輪場（中原区）

⑤局所的な対策による効率的な渋滞緩和 緊急渋滞対策の推進

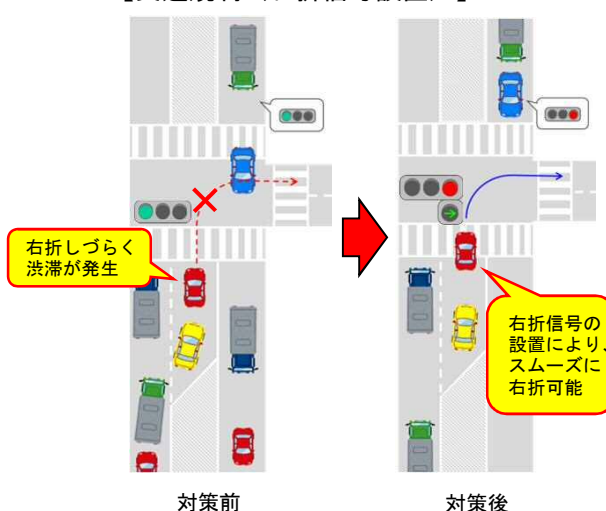
慢性的に渋滞が発生している交差点等について、交差点改良や交通規制の見直しなどの局所的かつ即効的な対策により渋滞緩和を図っています。

渋滞対策の例

【交差点改良（右折レーン延伸）】



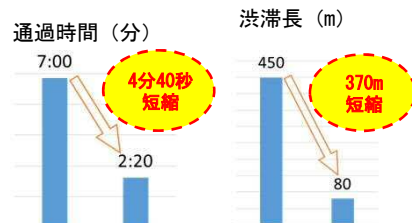
【交通規制（右折信号設置）】



・渋滞対策箇所（宮前区清水台交差点）



渋滞対策 の効果



通行帯や信号機等の
交通規制の変更により
渋滞が緩和

ストック効果

自動車交通の円滑化を促進

・車線や通行帯の変更、信号制御の変更等の即効的、局所的な対策により渋滞を緩和しています。

道路利用における安全性の向上

・交通の円滑化により自動車と自転車・歩行者との交錯を解消し、交通安全性が向上しています。

⑥安全で快適な自転車利用

自転車通行環境の整備、放置自転車対策の推進

自転車、歩行者の双方の安全性を確保し、市民が安心かつ快適に道路を利用できるよう、自転車通行環境の整備や放置自転車対策を行っています。

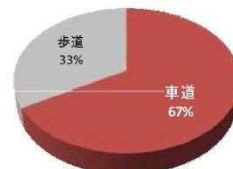
自転車通行環境整備



自転車道（車道、歩道と分離した自転車専用道）
（川崎府中JR高架下アンダーパス部（平成25年10月供用開始））



歩道を走る自転車が減少



放置自転車対策



川崎駅東口周辺駐輪場整備



（台） 放置自転車台数（平日9時台）



ストック効果

歩行者、自転車の安全性・快適性の向上

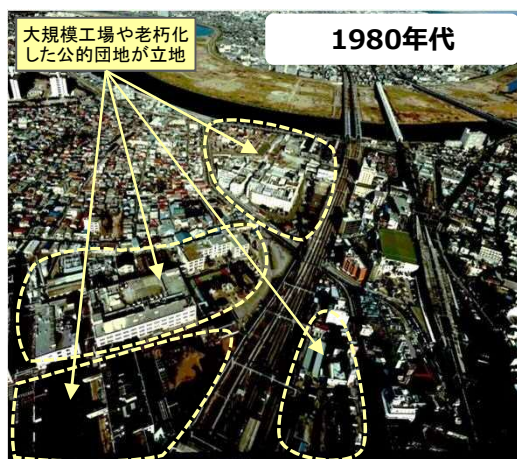
- ・自転車通行環境の整備により、歩行者・自転車・自動車の接触による事故の危険性が低下するとともに、スムーズな移動を実現しています。
- ・放置自転車の減少により、歩行者や緊急車両の通行環境が改善しています。

景観の向上

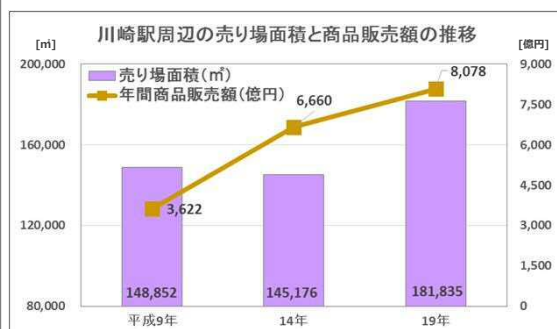
- ・放置自転車が減少することで、まちの景観が向上しています。

⑦活力と魅力あふれる川崎の玄関口 川崎駅周辺地区のまちづくり

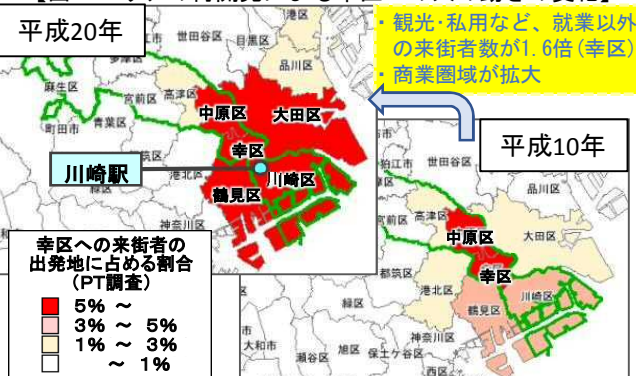
羽田空港との近接性などの立地ポテンシャルを活かし、多様な賑わいや交流による活力と魅力にあふれた、本市の玄関口にふさわしい広域拠点の形成を図りました。



経済の活性化



【西口エリアの再開発による幸区への人の動きの変化】



※PT調査(パーソントリップ調査): 人の動きを調べる交通実態調査

回遊性の強化と防災性の向上

【東口駅前広場のバリアフリー化】



【ペDESTリアンデッキの整備】

(ミューザデッキ)



【都市再生安全確保計画】

(デジタルサイネージ)



経済の活性化に寄与

大規模工場からの土地利用転換や再開発事業等の適切な誘導などにより、川崎駅周辺の年間商品販売額は大きく増加し、商業圏域も拡大するなど、経済の活性化につながっています。(ラゾーナ川崎は、全国のショッピングモールの中で、売上2位を達成(2015年))

回遊性の強化と防災性の向上

- ・バリアフリーに配慮した東口駅前広場の再編整備などにより回遊性が強化されました。
- ・首都圏で初となる「都市再生安全確保計画」の策定など、都市の防災機能の向上が図られました。

2 都市整備

⑧選ばれるまち武蔵小杉 小杉駅周辺地区のまちづくり

民間開発の適切な誘導と支援により、都市型住宅や商業、事業所、公共公益施設などがコンパクトに集積した市域の中心部に位置する広域拠点としてふさわしい都市拠点の形成を図っています。

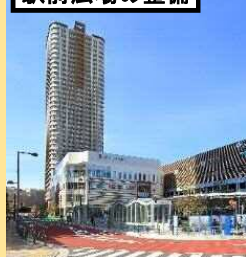


まちの魅力や利便性の向上

JR横須賀線新駅の整備を含む基盤整備の
推進や再開発事業の実施

駅前広場の整備

図書館の再整備



波及
効果

魅力
向上

民間投資額
(H26までの開発事業費)
約2,900億円

路線価の推移 (小杉町3丁目地区内道路)



鉄道利便性の向上



武蔵小杉駅からの
所要時分

川崎駅	9分(快速) 12分(普通)
東京駅	17分
新宿駅	18分
渋谷駅	13分
品川駅	10分
横浜駅	10分

ストック効果

まちの魅力や経済の活性化

- ・駅前広場や道路等の公共施設の整備、商業・事業所・都市型住宅等の機能集積とともに、図書館・市民館等の再整備を駅近くで行うなど、コンパクトで利便性の高い、歩いて暮らせるまちづくりの実現により魅力が向上しています。
- ・鉄道駅や駅周辺4地区の市街地再開発事業の整備など、地区の骨格を形成する事業を重点的に支援することで、地区周辺の民間開発事業を誘発し、経済の活性化につなげています。

鉄道利便性の向上

- ・横須賀線武蔵小杉新駅の設置等により、武蔵小杉駅の交通結節機能が大幅に強化され、鉄道利便性が向上しました。

⑨ 駅利用者の快適な乗り換えの実現 溝口駅南口広場の整備

主要ターミナル駅である溝口駅の南口に集中するバス、タクシー等の乗り場を集約し、適切な誘導を図るため、駅前広場の整備を行いました(平成29年1月供用開始)。また、約1,700台の自転車が収容可能な地下駐輪場も併せて整備しました。



広場面積：約5,400㎡、

(バス乗降場：5ヶ所、UDタクシー対応乗降場：各1ヶ所、一般車乗降場：1ヶ所、障害者用乗降場：1ヶ所)



ストック効果

バスシェルター/太陽光パネル

エコ街灯

地下駐輪場（入口）

交通結節機能の強化による駅利用の促進

- ・交通機能の集約により、鉄道、バス等のスムーズな乗り換えを実現しました。
- ・広場全周にバスシェルター(屋根)を設置、雨天時も濡れずに乗り換えが可能になりました。

バリアフリーで安全安心な駅前空間の実現

- ・ユニバーサルデザインタクシー乗り場を備え、高齢者等の安全な移動を支援しています。

ヒートアイランド現象の緩和等、都市環境の改善

- ・歩道に保水性舗装を採用、夏期の暑熱環境を緩和し、歩きやすさを実現しました。
- ・太陽光パネルによる電力を地下駐輪場や南北自由通路に活用し、CO₂排出を抑制しています。

⑩魅力あふれる拠点の形成

等々力緑地、富士見公園の再編整備

総合公園にふさわしい「スポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点機能の強化」を目指し、等々力緑地、富士見公園の再整備を推進しています。

等々力緑地



等々力陸上競技場メインスタンド



バラエティシート



四季園、市民ミュージアム、釣池

富士見公園



富士通スタジアム川崎



ストック効果

防災体験イベント



かわさきキッズ・パーク かわさき市民まつり
Supported by ボーネルンド

多様なスポーツの拠点として賑わいを創出

・等々力緑地ではJリーグ川崎フロンターレ戦やセイコーゴールドングランプリ陸上、バスケットボールのBリーグ、富士通スタジアムではアメリカンフットボールのXリーグなど様々なイベントを開催しています。車椅子席等の多様な観客席の整備により、誰でも快適にスポーツ観戦が可能になりました。

多様な目的で集う市民の憩いの場を提供

・公園内には文化施設や緑地があり、色々な目的で多くの方が集まる憩いの場となっています。

災害時の安全性を向上

・広域避難場所として、災害時の避難や救援活動・物資受入れ等の拠点整備を行いました。
・防災体験イベントを開催し、地域住民の防災意識を喚起しています。

⑪豊かな自然と伝統文化、科学、芸術 生田緑地の保全・管理・運営

市民活動団体や地域団体、大学等との協働によるパークマネジメントにより、自然環境を保全しています。また、生田緑地内の施設に民間の力も導入し、多様な魅力を積極的に発信しています。

豊かな自然と保全活動



ホタルの里



ばら苑



秋の紅葉(メタセコイヤ)

生田緑地における協働のパークマネジメントの取り組みが「第36回緑の都市賞 国土交通大臣賞」を受賞しました。(市民活動団体や地域団体、大学等と協働でお互いの特性を活かし課題解決や魅力発信に取り組む活動)



在来生物保護活動(奥の池)



ホトケドジョウの観察会

多様な施設や自然を活かしたイベント



日本民家園



岡本太郎美術館



かわさき宙と緑の科学館



藤子・F・不二雄ミュージアム



ストック効果

結婚式



ヨガ



生物多様性の確保

・市民活動団体と協働で自然環境を保全・管理し、都心では貴重となったゲンジボタルやホトケドジョウ等の生き物が生息する生物多様性の確保に寄与しています。

環境への関心を高める場の創出

・緑地内で植物や野鳥などの自然観察会、田植え体験など、体験型環境学習の場を創出しています。

文化の継承、芸術等の学びの場を提供

・日本民家園、岡本太郎美術館、かわさき宙と緑の科学館、藤子・F・不二雄ミュージアムなど様々な施設で楽しく学べる場を提供しています。

魅力の発信による賑わいの創出

・生田緑地の自然を活かしたイベントや施設間で連携したイベント等を開催し、魅力を発信するとともに賑わいを創出しています。(平成27年度生田緑地来場者数※: 1,102,924人)

※日本民家園、岡本太郎美術館、かわさき宙と緑の科学館、ばら苑、生田緑地ゴルフ場、藤子・F・不二雄ミュージアムの来場者数合計

⑫誰もがのびのび過ごせる身近な公園

魅力的な公園の整備

老朽化の進んだ公園の再整備やバリアフリー化の取り組みなど、市民ニーズに合わせた魅力的な公園の整備を進めます。

小田公園の再整備

周辺住民とのワークショップやアンケートを踏まえ、公園を再整備（平成29年7月完成）



子ども広場(大型遊具)



外周園路



水遊び施設(じゃぶじゃぶ池)



地域イベント(夏のお楽しみ会)

バリアフリー化の例 (みんなのトイレ)



稲毛公園(川崎市)



健康器具



小向公園
(幸区)



特色ある遊具



下沼部公園(中原区)



稲田公園(多摩区)

ストック効果

地域コミュニティの活性化

・子供から高齢者まで、地域の人々が集まる場を提供し、コミュニティの活性化に寄与しています。

子育て・健康空間の創出

・地域のニーズに合わせて必要な遊具や健康器具などを整備し、身近な公園で子育てや健康づくりの空間を創出しています。

高齢者や障害のある方への安心の提供

・公園入口等の段差解消や「みんなのトイレ」の整備など、公園のバリアフリー化により高齢者や障害のある方も安心して公園を利用できます。

災害時の身近な安心の提供

・災害時にはすぐに行ける身近な避難場所としての機能を発揮し、安心を提供しています。

⑬ 巨大な地下トンネルが守る地域のくらし 五反田川放水路の整備

大雨の際に五反田川の水を地下トンネルを通じて直接多摩川へ放流させることで地域を洪水から守る「五反田川放水路」の整備を進めています。(平成31年度供用開始予定)



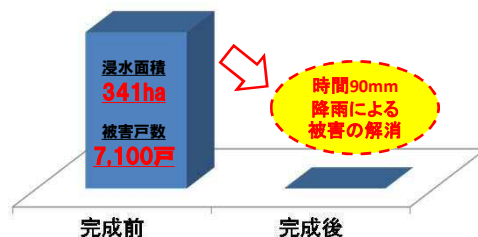
昭和51年9月洪水の状況(多摩区枳形地内)



現場見学会の様子

ストック効果

時間雨量90mm降雨における浸水被害の想定(範囲・戸数)



浸水リスクに対する地域防災力の向上

・大雨に対する安全性を高め、災害に強いまちづくりに貢献します。

住民の防災意識の向上

・説明会・見学会の開催など、地域へ積極的な情報提供を行うことで、地域住民の防災意識の向上に寄与しています。

⑭心地よい風が吹く憩いの場

多摩川緑地の整備・管理

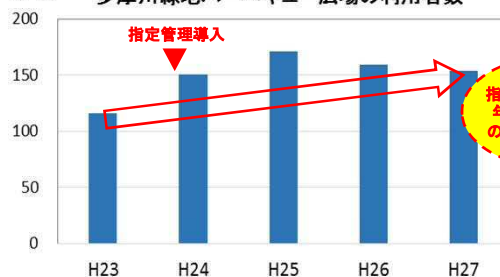
都市に近接した貴重な水と緑のオープンスペースである多摩川において、市民が様々なスポーツやレクリエーションを楽しむための施設整備及び維持管理を行っています。

多摩川緑地バーベキュー広場



バーベキュー広場でのイベント開催
「かわさき農業フォーラム」

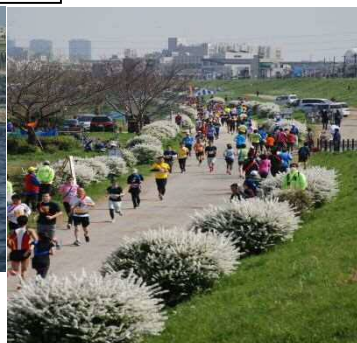
多摩川緑地バーベキュー広場の利用者数



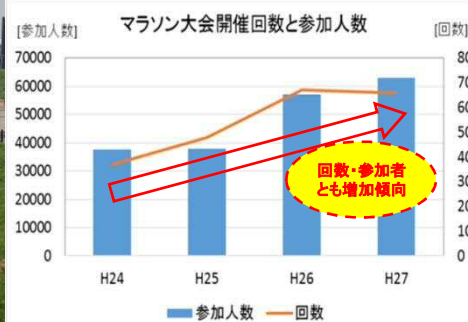
多摩川の豊かな自然を活用



エコ★カップいかだ下り
(多摩区 宿河原)



多摩川リバーサイド駅伝(幸区 古市場)



ストック効果

多様な楽しみ方ができる水辺空間の提供

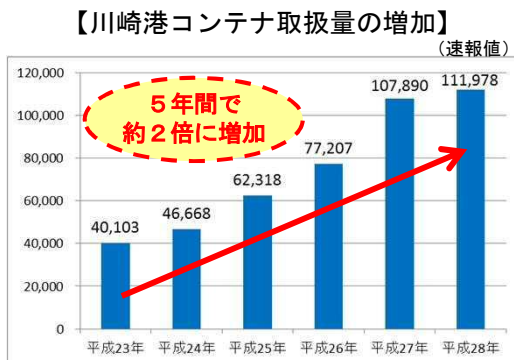
- ・多摩川緑地バーベキュー広場では、民間(指定管理制度)による機材のレンタルなどの利用者のニーズを捉えたサービスや、施設周辺の清掃・地域イベントの開催などの取り組みによって、継続的な管理・運営を実現しています。

スポーツ拠点としての賑わいの創出

- ・多摩川の豊かな自然環境の中で、市民が気軽にスポーツを楽しむ機会を創出しています。

⑮ 物流拠点と防災拠点を支えるインフラ 臨港道路 東扇島水江町線の整備

川崎港コンテナターミナル等の物流拠点を有する東扇島地区と内陸部を結び、京浜運河を橋りょうで渡る臨港道路を整備します。(全長 約3.0km、標準幅員19m、平成35年度完成予定)



ストック効果

総合的な港湾物流拠点としての機能を強化

- ・川崎港のコンテナ取扱量は、順調に増加し、平成28年には11.2万TEUを達成しました。
- ・東扇島地区では、高機能な物流施設や日本有数の冷凍冷蔵倉庫が集積しています。
- ・臨海部交通ネットワークの構築や輸送効率の向上により、総合物流拠点としての機能強化を図り、地域経済の活性化を通じて、企業の設備投資や新たな雇用を誘発します。

基幹的広域防災拠点を支える重要な交通インフラ

- ・災害時には首都圏における緊急物資の中継基地等として機能することから、緊急輸送路のリダンダンシー(代替性)の確保を図り、広域防災拠点の機能強化を図ります。

【臨港道路整備による 更なる輸送効率を実現】



川崎港海底トンネル

朝夕における
混雑を緩和

【東扇島東公園】

防災訓練の様子



かわさきの浜

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

発行：平成29年6月

お問合せ先

●道路・橋りょう・河川・公園緑地の整備等に関すること 建設緑政局総務部企画課

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12番地1(川崎駅前タワー・リパーク17階)

電話 044-200-2770 FAX 044-200-3973

●都市計画、住宅、建築宅地、施設整備等に関すること まちづくり局総務部企画課

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6番地(明治安田生命川崎ビル8階)

電話 044-200-2715 FAX 044-200-3967

●川崎港の港湾計画・整備・経営・管理、港湾振興等に関すること 港湾局港湾経営部整備計画課

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12番地1(川崎駅前タワー・リパーク20階)

電話 044-200-3061 FAX 044-200-3981